

目 次

1. 構想策定の前提	01
1—1. 背景・目的	01
1—2. 対象地の位置・範囲	03
1—3. 構想の位置づけとフロー	04
2. 計画地の特性の把握	05
2—1. 社会環境	05
2—2. 対象地に係る都市計画の状況	08
2—3. 上位関連計画における位置づけ	09
2—4. 台峯緑地の基本的な構成	13
2—5. 自然環境	15
2—6. 市民要望・意見、市民活動等の状況	21
3. 基本的な考え方	23
3—1. 基本理念	23
3—2. 基本方針	24
4. 保全・活用に向けた課題と評価	25
4—1. 自然環境の保全と活用に向けた課題	25
4—2. ブロック評価と基本ゾーニング	27
5. 基本構想	31
5—1. 基本構想のフロー	31
5—2. 保全・活用方針	32
5—3. ゾーン区分及びゾーン別方針	34
5—4. 動線計画	39
5—5. 施設導入計画	43
5—6. 基本構想図	46
5—7. 維持管理目標	51
6. 保全施策の検討	52
6—1. 台峯緑地の保全施策に関する経緯と 本基本構想での保全手法の考え方	52
6—2. 保全手法の候補	52
6—3. 保全施策の展開	54
7. 事業計画	56
7—1. 市民参画と協働による事業方針	56
7—2. 事業費	57
8. 今後の手順	58
8—1. 基本構想の決定及び今後の手順	58
8—2. 基本計画策定に向けた検討事項	58
■用語の説明	60